

マサバ対馬暖流系群の水産庁依頼への対応

水産資源研究所 水産資源研究センター
 浮魚資源部 浮魚第4グループ
 向 草世香・依田真里

マサバ対馬暖流系群の今年度資源評価に対して、水産庁より、2024年のABCを再評価する依頼を受けた（別紙）。試算の内容は、今年度の資源評価で推定した2023年の年齢別資源尾数をもとに、2024年の漁獲圧を令和2年に定められた管理基準値の0.95Fmsyとした将来予測を行い、その時の漁獲量を算出するものである。

今年度評価では、年齢-体長関係の見直しや2008年以降の年齢別漁獲尾数の算出方法を変更したため、近年のすべての年齢で平均体重が昨年度評価よりも低くなった。一方、資源計算により推定された2023年の年齢別資源尾数は、昨年度評価の予測値よりも上方修正され、親魚量も上方修正された（表1）。

昨年度評価と今年度評価の将来予測で想定される年齢別体重が変化したことから、2024年の将来予測における体重の設定を、以下の2条件で行った。なお、2024漁期年の漁獲量は、令和5年度資源評価の方法（補足資料6）に従って算出した。

- ① 令和5年度資源評価で用いた将来予測（令和2（2020）年に定められた体重）と同じとした場合
- ② 令和6年度資源評価で用いた将来予測（令和6（2024）年度資源評価における2018～2022年の平均体重）と同じとした場合

両者では年齢別漁獲尾数は同じであるものの、①は②よりも年齢別体重が高いため、漁獲量が高く算出された（表1）。今年度の資源評価結果との整合性を考慮すれば、②の値（29.2万トン）を採用することが適切だと思われる。

表1. 令和5年度および令和6年度資源評価で推定した2023～2024年の親魚量（万トン）と漁獲量（万トン）

評価年度	2024年の将来予測の設定	2023暦年		2024暦年		2024漁期年	
	体重 算定年	親魚量	漁獲量	親魚量	漁獲量	親魚量	漁獲量
令和5(2023)	令和2(2020)	19.0	23.6	21.4	24.1	23.1	26.8
令和6(2024)	①令和2(2020)	27.9	22.2	33.6	32.0	33.5	32.3
	②令和6(2024)			30.6	28.8	30.5	29.2

(別 紙)

事 務 連 絡
令和6年11月13日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 調査・評価部会長 福若雅章 様

水産庁 漁場資源課 沿
岸資源班長

マサバ対馬暖流系群の令和6年度資源評価における試算についてのお願
い

マサバ対馬暖流系群の令和6年度資源評価において、2024年の再評価ABCを
算定していただきたい。再評価ABCは漁期年（7月～翌年6月）とし、令和2年
に定められた管理基準値に基づく数値とすること。

以 上